

みなさんの



地域の居場所

紹介します！



100円の
秘密とは…

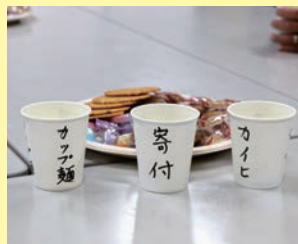
100円の会（鍋田区）

予定の時間になると少しずつ人が集まりはじめ、まずは紙コップに会費を入れます。

この会は、その名の通り「100円持って参加する」ことだけが約束です。公民館にいる間は何をしてもいい、いつ来てもいつ帰ってもいい、お弁当を作ってきた、手ぶらで来てもすべてが自由です。

人が揃ったと感じたタイミングで始まるラジオ体操。手ぶらで来た人も漬物を持ってきた人も、公民館の炊飯器であたたかいごはんを炊いて、みんなで分け合う。音楽を流せば、みんなが輪になって踊り出す。

常に“ゆる～い”雰囲気の中で、まるで自宅にいるような落ち着きと、みんなで過ごす楽しさに笑顔があふれていました。



Q 100円の会を始めたきっかけは？

ひとり暮らしの参加者が増えてきたこと。

●「鍋田女性の会」の活動は、おおよそ月1回のペース。➡ 集まる機会を増やしたい。

●それぞれ自宅にいと、冷暖房代が上がる。物価高騰も… ➡ 公民館に集まって出しゃ家計にも優しい。
➡ 自分が食べたい物を持参。カップ麺のストックも。

100円持って集まれば、いいことがいっぱい！

編集こぼれ話

福岡の食文化といえは何を思い浮かべますか？うどんやもつ鍋などいろいろありますが、私は真つ先に屋台を思い浮かべました。
地元にいるとなかなか行きませんが、行けば自然に店主や他の方と話をし、常連さんが多いので交流の拠点にもなっています。さて、先月のこぼれ話でおつこいの話をしたところ、複数の方から

お声をいただきました。記事を作っていると孤独を感じる時があるのですが、お声をいただくことで一人ではないと思いました。望まない孤独や孤立が長く続くと健康面に悪影響を与えたりと聞かれています。日本でも対策に力を入れ始めましたが、福岡の屋台のように、ゆるくつながることができるところがあるとそれを防ぐことができるかもしれません。つながりて大切ですね。
(川嶋)



ひさしぶりに行ってみようかな～

ゆるやかにつながるだけで こころが軽くなる

昨今、孤独・孤立の問題が広がる中、社会全体で解決に向けた取り組みが求められています。

社会福祉協議会も民生委員・児童委員等と連携して、広報・啓発活動や支援活動の展開を呼びかけていきます。



孤独・孤立対策
官民連携プラットフォーム

5月は、「孤独・孤立対策強化月間」です

孤独

心がひとりぼっちになっている状態。孤独は感情であり、自分の内側から生まれる感覚です。



孤立

実際に社会的なつながりが絶たれている状態。孤立は外側の環境によって起こる現象です。



孤独や孤立は、決して特別なことではありません。孤独を感じた時、大切なことは誰かと少しつながってみることです。ほんの少しの関わりや言葉で、不安が和らぐかもしれません。いつでもご連絡ください。

社会福祉協議会 ☎ 283-2940

孤独・孤立対策強化月間
Webサイトもご覧ください

https://www.notalone-ca.go.jp/main-monthly/

「社協だより」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。